



大切にしたい学びの場



仲嶺 真弓

毎日暑い日が続き、蝉もジージーと鳴き出し、いよいよ夏本番となりました。2019年8月、74回目の終戦の日を迎えます。74年前の8月6日広島に、8月9日長崎に原爆が投下されました。忘れてはいけない歴史があることを今年もまた胸に刻みたいと思います。

7月は、人が育つ場があることを感じ、嬉しく思った月でした。

つばさ共同保育園では、短大生の実習や中学生の体験学習を受け入れたり、他機関からの依頼を受け、職員が講師として出向いたりすることもあります。この6月末にも泉佐野市立新池中学校で2年生の“職業聞き取り学習”があり、0歳児担任の吉井泉が講師として行かせていただきました。内容は保育士という職業について吉井の体験も交えた話でした(詳しい内容は次ページに掲載しています)。その後、吉井の話聞いた中学生の感想を私も見せてもらいました。中学生の感想は、【安心した部分がありました。自分ペースで自分が本当にしたい事を見つけようと思う。無理かもしれないけど、頑張ることは無駄にならない。保育士はしんどいけれど楽しいんだ。今、なりたい職業がなくても慌てないでいけばいいと思った。何とかなる。あきらめない心を教えてくれてありがとう。「わからないことは、わからないとい声をあげるのも責任」という言葉がとても心に残った。上手くないからとかではなく、自分の気持ちで変わるんだと思った。】などなど…。学生の感想を読みながら、自分の心で何かを感じることはとても大事なことで、そして感じた幾つかの体験の中から自分で何かを選び取っていくことが、人が育つための大きなパワーの一つになると思いました。

つばさでは、大人の体験研修も受け入れていています。小中学校で働く2年目の先生の社会体験研修で年に1回受け入れていています。就学前の子どもたちについての理解や、アトムが大切にしている3つの柱(①自己表現の力を養う ②1人1人の個性を大切にする ③人間関係作り)を胸に職員が日々奮闘し、それを目指しどんな工夫をしているのかを保育現場に入り実感し、小・中学校の現場でも活かせることを学びたいという趣旨を聞いています。人が育つことに、何が正解なのか答えがないからこそ、自分だけの理解に留まらず、自分とは違う視点からの考えを聞き、理解を深めることが大事と思うので、こういう機会も大切にしています。

その他にも大人の学びの場はたくさんあり、先日28日に開催した“根っこの集い”もその一つです。育む会&アトム・つばさ保護者会&アトム・つばさ職員の共催での開催でしたが、それこそいろんな年代、職種の人々が集い、4つのテーマ(①教育 学校について ②親子関係ってむずかしい? むずかしくない? ③子育てについて ④『共同』って何?)に沿って分科会+全体会で語り合う場がありました。私は体調不良で参加できなかったのですが、参加した保護者や職員からは、学びになったという感想が聞かれ、行けなかったことが悔やまれました。年に1回しかない場なので、来年こそは参加したいと思っています。

先日参加した懇談会では、「クラスのことを一緒に考えよう」をテーマに懇談会をしたいと保護者から提案がありました。思いを聞くと、送迎時に垣間見える状況からふと湧いてきた疑問や不安の呟きが、保護者間でちらほら聞こえてくる状況があり、その呟きを保護者だけに留めず、直接、職員に現状を聞き、クラスのことを一緒に考えたいとのことでした。懇談会の進行も保護者がすることになりました。打ち合わせの時に、この1回で問題がすぐに解決するとは思わないけど、保護者も職員も自分が見える風景から感じた思いを出し合い、それぞれの思いや考えを聞いて見えていなかった部分を知り、現状を共有することを一番の目的にしようということで懇談会の当日を迎えました。4月からの保育の疑問、質問に答える形の内容で懇談は進みました。それぞれの思いや意見が出る中、自分のあたりまえは、人のあたりまえではないという言葉がとても印象に残りました。話をしたからと言ってすぐに解決できないこともありますが、人との価値観の違いを知るだけでも、ずいぶん気持ちは違います。そんなことを実感できた懇談会でした。

保護者は子どもを園に預けるといことで、親の自分が何かを言うことで子どもに影響しないかと考えてしまうこともあるという思いを聞くことがあります。私は30年以上保育園で勤めています。この気持ちはたびたび耳にすることがあります。「保護者からしたら子どもを人質にとられているようなものだから何も言えない」という気持ちをもつ人も多いのかと理解していますが、職員も保護者からの意見をクレームとはとらずに保護者の思いに向き合おうとしています。共に保育をつくる為に何が必要か、人質論では共にはつくれませんのでそこを乗り越えて一緒に保育を作ってほしいです。